

所内研修⑥ 沖縄クリスマスキャラバンを活用して実施

12月22日(月)に所内研修として、沖縄クリスマスキャラバンを活用して、「エプロンシアター」「リズム運動」「レクレーション」「キッズヨガ体験」を行いました。

沖縄クリスマスキャラバンとは、沖縄県教育委員会が推進している「食べて・動いて・よく寝よう」の推奨者である早稲田大学 前橋明教授を中心にして、多くの方々が無償ボランティアとして、講師を引き受けてくださる沖縄限定キャラバンです。今年は、20名の方が来沖し、12月19日から沖縄各地を巡回しています。

島尻地区では、20日 与那原東幼稚園、21日 糸満幼稚園、22日 新城幼稚園、島尻教育研究所、24日 白川幼稚園、とよみ幼稚園、兼城小学校にて、生活リズムに関する講話や親子ふれあい体操、児童と幼児のふれあい体操などの内容で講座を開催しています。

島尻教育研究所でも、研究員と近隣の保育士、幼稚園教諭を対象に研修会を行いました。

5名の講師が楽しく講座を進め、心も身体も頭もリフレッシュにあつという間の2時間でした。

【所内研修の概要】

1 開会のことば

2 所長あいさつ

3 講師自己紹介

新潟県見附市まちづくり課	主事	野本博也
植草学園短期大学 福祉学科	准教授	松原敬子
大阪府レクリエーション協会	公認講師	浅田昌子
日本キッズヨガ協会	代表理事	楠みよこ
沖縄女子短期大学	非常勤講師	前嵩西珠世

4 実技講習

- (1) エプロンシアター
- (2) リズム運動
- (3) レクレーション
- (4) キッズヨガ体験

5 お礼のことば 教育研究員 波照間生子

6 閉会のことば



写真1 研修の様子



写真2 研修を終えて

教育研究員の感想 (研修日誌から)

今日はとても楽しい時間を過ごせました。エプロンシアターでは、子どもにも参加してもらって楽しむ方法を教えて頂きました。自分で演じるのではなく、子どもと一体となって楽しむことが、子ども達を引きつける手立てだと感じました。食育のエプロンシアターは沖縄の特産物も出てきて、子どもに食を知ってもらう機会にもなるなと思いました。ふれあい遊びやリズム遊びでは、楽しく体を動かすために、拍手の音を聞いたり、先生の動きをよく見たりと子ども達の目線になって体験することが出来ました。子ども自身も動きを合わせようと先生をしっかり見る態度や、聞く態度、楽しみながら友達とかかわることができると思います。教師は、一緒に楽しみながらも時には試してみたりし、子ども達が考えながら動けるように言葉かけをしていく等の援助が必要だと思いました。

子ども達にとって興味関心をもって取り組むことは、意欲を高めることに繋がり、主体的に取り組むことができる1番の要素だと思います。私も子どもを引きつけられる魅力ある教師を目指して、今日の研修で習ったことを現場で実践してみたいです。(上原亜矢)

初めてのクリスマス沖縄キャラバンへの参加。わくわくしながら、参加しました。一番楽しみにしていたのは、エプロンシアターです。トナカイの被り物をかぶって、クリスマスのストーリーが始まりました。何が飛び出すのか、ドキドキしながら見ていました。子どもたちもきっと、こんな気持ちで見ているのしれないなと思いながら見ました。それにしても、エプロンシアターのシーサーやサンタさんがとてもかわいかったです。こんなに上手に作れるなんてすごいなと感心させられました。

ダンスは、張り切って踊りました。久しぶりに体を動かしたので、とても楽しくて、笑顔になりました。みんなも、生き生きと踊っていたし、たくさん笑っていました。

ヨガは、とても気持ちよかったです。心身ともに癒やされました。腰が痛かったので、あまり、無理はできませんでしたが、それでも、なかなかいい運動になりました。

どれもこれも、参考になるものばかりで、現場に戻ったらぜひ、やってみたいなと思いました。貴重な体験ができてよかったです。
(比嘉頼子)

クリスマスキャラバンということで、わざわざ内地から講師を招聘しての研修がありました。エプロンシアターということで、それだけの2時間の研修かと思ったのですが、全然違って体を動かして様々なリズムやレクリエーションなどをやって、途中きつい運動もあったのですが、楽しかったです。まず、エプロンシアターは聞いたことはあったのですが、実際みるのは初めてで、色々なしかけがあり小さい子をきつけるにはとてもいいと思いました。また、体を動かして様々なリズム、レクなどをしましたが、学校に戻ってからやおうちで一番使えそうだったのは、足し算をするじゃんけんです。一桁のたし算なので、そんなに難しくはないし、反応の早さを勝負するので普通のじゃんけんより楽しくできそうだったと思いました。また他にも指を合わせるやつや拍手の数だけ子どもに手をたたかせるもの、ヨガも楽しく活動できそうです。しかし、音楽を聴いてのリズムは、実際にやる時に思い出せない気がするので、できれば色々な活動を紙面であればさらにいいと思います。久しぶりのいい運動でした。
(久高友弥)

クリスマスキャラバンのネーミングどおり、小学校では見ることのできないエプロンシアターや体を思いっきり動かし、みんなと息を合わせて楽しむリズムダンス、精神統一をしながら、普段動かすことのない筋肉を鍛えるヨガなど体験することができました。

中でも、リズムダンスは、小学校の行事の出し物やレクリエーションなどでも活用できそうなものがたくさんあり、勉強になりました。個人的には、初体験のヨガが楽しかったです。始めのベルの音は、体だけでなく心まで響くすてきな音でした。

講師の方々も、全国各地から集まって幼児から高齢者まで幅広い人たちをボランティアで指導しているとのことでした。生涯教育に携わるスペシャリストだなと思います。

心も体も元気になれる一時となりました。
(富名腰由紀)

幼稚園の先生方は、パワフルで芸達者だと感じました。エプロンシアターでのどんぐり拾いは体力的にむりでした。若いつもりでいたのですが、体がついていかなかったです。でもあつという間の2時間で、いい疲労感で体が軽くなりました。

たまに、体を動かさないといけないと感じました。ふれあいリズムでは、体と頭を動かしていくとリズムにのってたのしく運動できました。ヨガでは、自分の体が硬いことにびっくりしました。呼吸法や動きが難しいイメージがあったのですが、子ども向けにご指導されているということで、分かりやすい表現で教えてくださり家庭でもやってみようと思いました。

長年使っていくうちに、体は硬くなっていくとお話されていたので、丁寧に自分の体をメンテナンスしないとけないと感じました。
(波照間生子)